

省エネルギー行動のきっかけと 意識および行動の変化：

実体験/非実体験と個人の価値観に着目して

Drivers for energy-saving and Changes in awareness and behavior
- focusing on real/virtual experiences and people's values

BECC JAPAN 2020

横浜国立大学
○厨川拓海

早稲田大学
大塚彩美

横浜国立大学
鳴海大典

2020年8月25日

社会背景：省エネの為の取り組み

人間活動の拡大にともなうエネルギー消費量の増加

COOL CHOICE

温暖化対策に繋がる選択を促す国民運動

例) 省エネなライフスタイルなど

温暖化に対する理解と協力の機会の形成

省エネを促すきっかけの提供

例) 環境教育、報道など

問題意識

同じ経験・情報を受けているにもかかわらず、
省エネ行動を実行する人とならない人が存在するのはなぜか

これまでの研究 省エネ行動推進の為の研究

例) 震災停電(八木田ら, 2012) など

属性

性別

(福代ら, 2009)

年齢

(吉田ら, 2017)

世帯年収

(尾島ら, 1979) など...

価値観

(大塚ら, 2017)

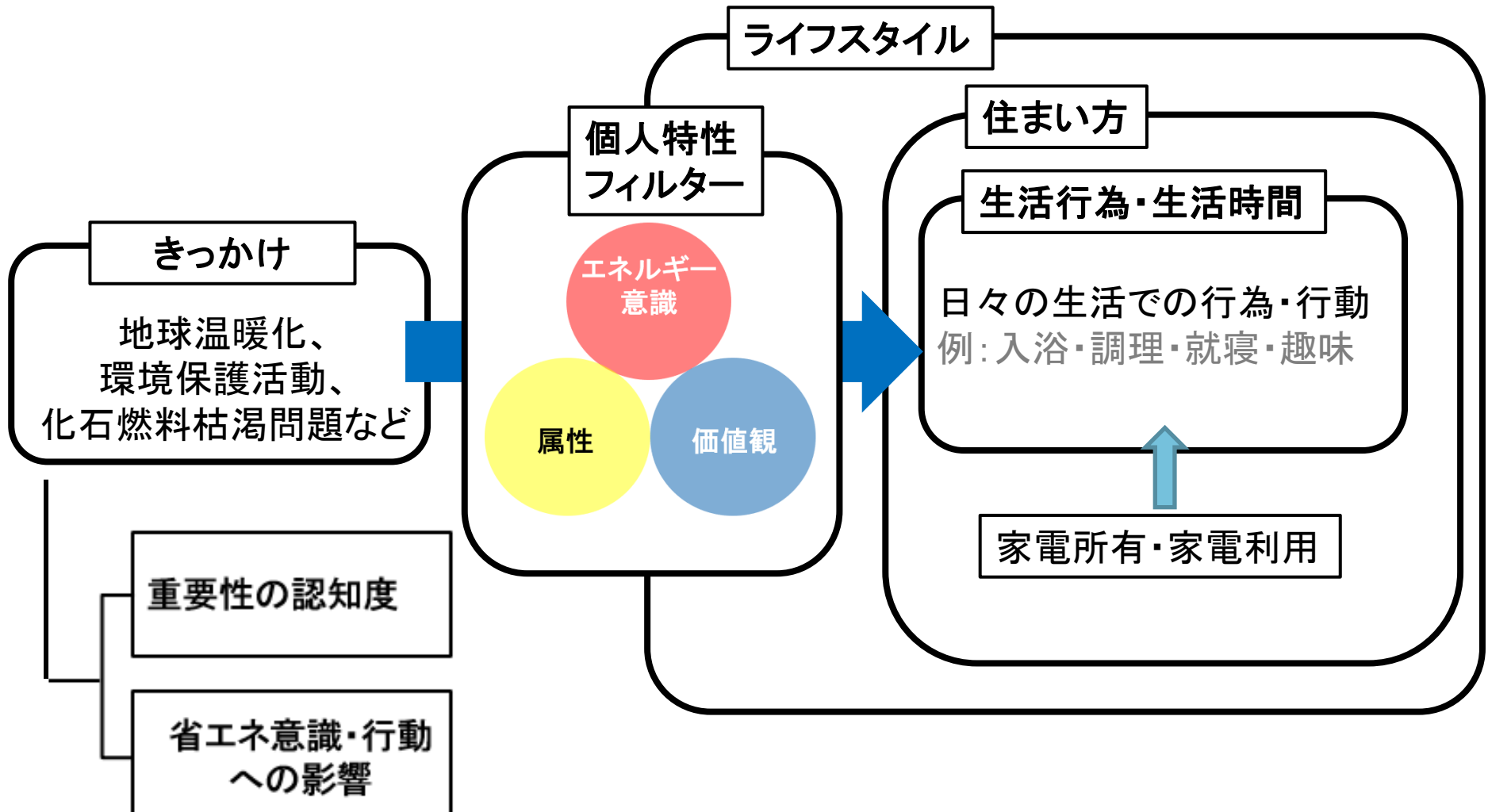
人の属性や価値観などの影響によって、省エネ行動の傾向が異なるにも関わらず、「省エネを促すきっかけ」の研究において考慮されていない。

研究の目的

色々な要因がある中で人の価値観や属性の違いに着目して
省エネを促すきっかけの効果を評価する

研究の枠組み

省エネのきっかけの定義：人の省エネ思考に変化を与え得る事象



調査概要

首都圏在住の親子2世代を対象としてアンケート調査を行った。

1. 省エネのきっかけに対する**重要性の認知度**
(1.重要でない~5.重要、経験なし)
2. 省エネのきっかけが与える省エネ意識or行動への**影響**
(1.変化なし、2.意識のみ変化、3.意識・行動共に変化)
3. **属性情報**(年齢・性別・年収・価値観・自然、動物への関心など)

表1.調査概要

調査期間	2020年3月10日から3月13日
調査対象	首都圏在住の親子2世代ファミリー世帯
調査方法	Webアンケート調査
調査項目	年齢、省エネのきっかけに対する重要性の認知度、省エネのきっかけ行動に与える影響、長期居住地域、育成環境、海外在住経験、高校卒業までの興味関心（自然、動物・生き物、都会の暮らし、機械いじり）、環境・省エネ知識の主観的評価、環境問題・省エネに関心を持つ時期、使用エネルギー、世帯年収、価値観変化のきっかけ
回答数	回収数：875、うち有効回答数は821
分析方法	統計検定（t検定、一元配置分散分析）相関分析

※先行研究データと紐づけた結果が必要な分析の有効回答数はn=668

—— 本研究で用いる「省エネのきっかけ」(全20項目) ——

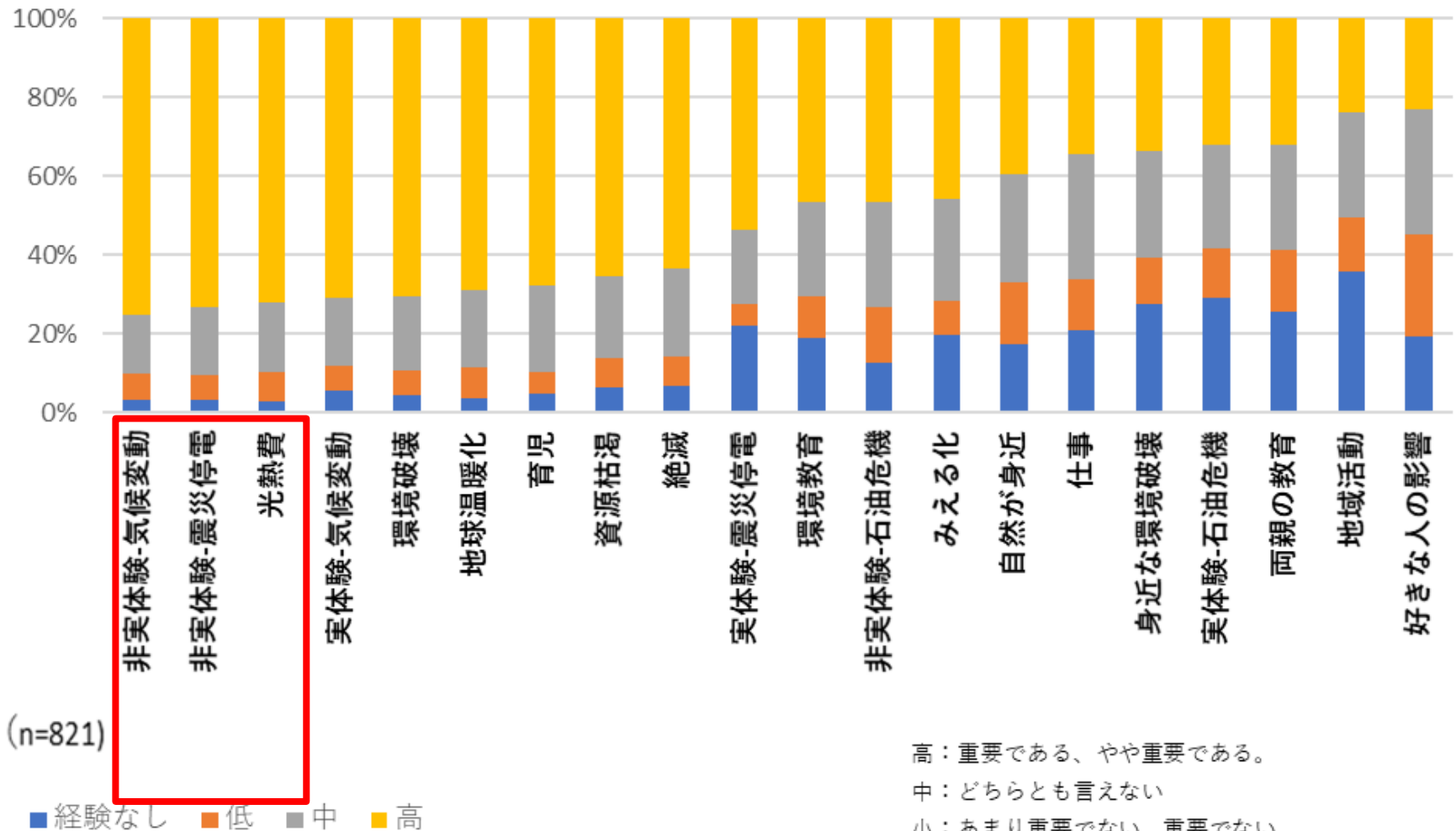
分類		略称	設問
非実体験	マスメディア (比較項目)	非実体験- 震災停電	東日本大震災の影響で 電気が使えない地域の情報をメディアを通して見た
		非実体験- 気候変動	台風や猛暑などさまざまな異常気象に関する情報をメディアを通して見た
		非実体験- 石油危機	オイルショックによる生活への影響があったことをメディアを通して知った
	その他マスメディア	絶滅	環境破壊や動植物の絶滅の危機が起きていることを訴えかける情報をメディアで見た
		資源枯渇	将来的に資源が枯渇する可能性を訴えかける情報をメディアで見た
		地球温暖化	地球温暖化を訴えかける情報をメディアで見た
		環境破壊	空気汚染や水質汚染など、環境汚染問題に関する情報をメディアで見た
実体験	経験 (比較項目)	実体験- 震災停電	東日本大震災の影響で電気が使えない暮らしを経験した
		実体験- 気候変動	台風や猛暑などさまざまな異常気象の悪影響を受けた
		実体験- 石油危機	オイルショックにより生活に不便を強いられた経験をした
		地域活動	地域社会活動を通して環境に関心を持った
	所属する属性の影響 【例：男性は仕事関係のきっかけを経験しやすく、影響をうけやすい】	仕事	仕事を通して環境に関心を持った
		環境教育	教育機関や公共施設等にて、環境教育を受けた
		育児	育児や家庭生活を通して子どもや孫の将来の幸せを考えた
		両親の教育	両親や祖父母など家族から省エネ行動を求められた
		光熱費	光熱費の支払いや管理を経験した
		見える化	何らかのエネルギーの見える化機器により家庭内のエネルギー消費量の内訳を知った
		自然が身近	自然に囲まれて育った
		好きな人の影響	自分の好きな人や店(芸能人、スポーツ選手やブランド等)が環境問題に取り組んでいることを知った
		身近な環境破壊	宅地造成や道路工事などの土地開発によって身近な地域の環境破壊を経験した

※ 分類のマスメディア(比較項目)と経験(比較項目)について、実体験と非実体験を比較する為、「比較する内容が同じであること」「比較するきっかけの数が同じである事」以上の2つの条件を満たした設問を作成

省エネのきっかけ-重要度

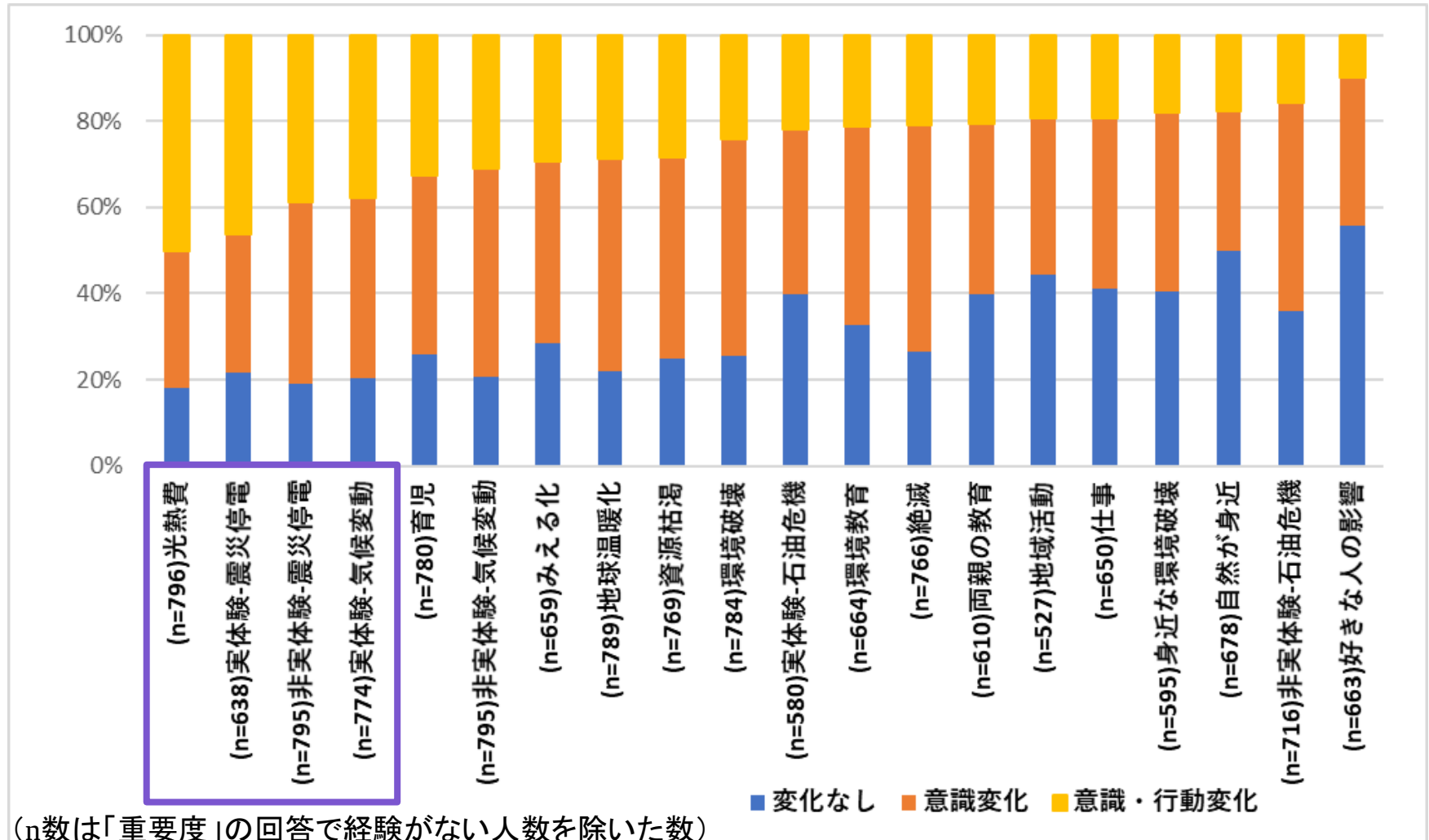
有効回答者数:821

省エネ意識や行動に対するきっかけとしての重要度を「重要でない」～「重要である」の5段階、および「経験なし」の全6段階で評価



省エネのきっかけ-影響度

省エネ意識や行動に対する影響を「意識も行動も変わっていない」、「意識のみ変わった」「意識も行動も変わった」の3段階で評価



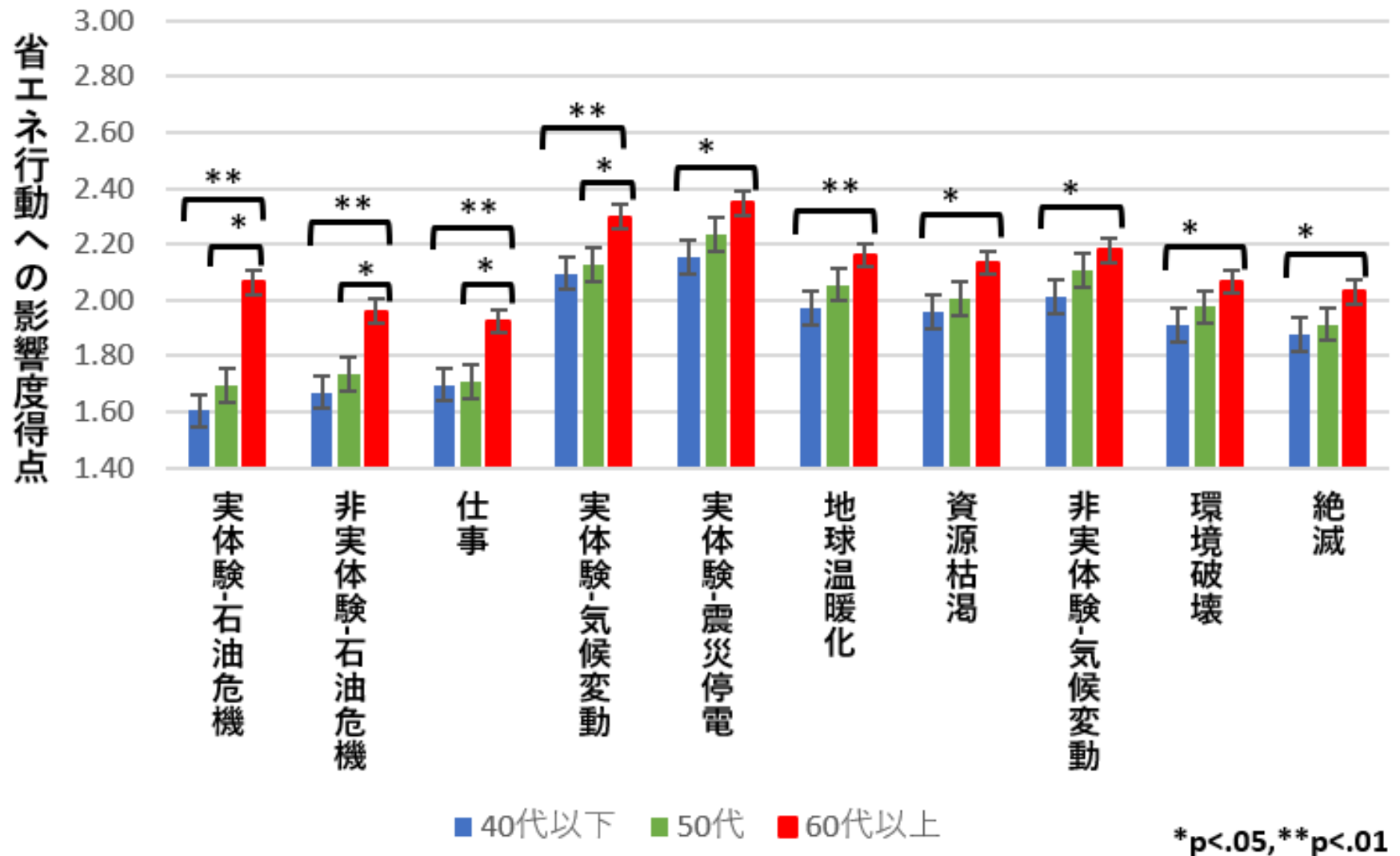
年代別きっかけの影響度

きっかけ	40代以下	50代	60代以上	合計
非実体験-震災停電	2.15	2.19	2.26	2.20
非実体験-気候変動	2.01	2.11	2.18	2.10
非実体験-石油危機	1.67	1.74	1.96	1.80
絶滅	1.88	1.91	2.03	1.94
資源枯渇	1.96	2.00	2.13	2.03
地球温暖化	1.97	2.06	2.16	2.06
環境破壊	1.91	1.98	2.07	1.98
実体験-震災停電	2.15	2.24	2.35	2.25
実体験-気候変動	2.10	2.13	2.30	2.17
実体験-石油危機	1.61	1.70	2.06	1.82
地域活動	1.75	1.73	1.77	1.75
仕事	1.70	1.71	1.92	1.78
環境教育	1.89	1.84	1.93	1.89
育児	2.12	2.08	2.00	2.07
両親の教育	1.82	1.79	1.82	1.81
光熱費	2.27	2.33	2.37	2.32
みえる化	1.97	1.99	2.07	2.01
自然が身近	1.66	1.66	1.71	1.68
好きな人の影響	1.60	1.52	1.50	1.54
身近な環境破壊	1.72	1.78	1.83	1.78

1＝意識も行動も変化なし
2＝省エネ意識が変化した
3＝意識も行動も変化した

表中：
赤字＝最も得点が高いもの
青字＝最も得点が低いもの

60代以上のきかけの影響度



性別の違いによるきっかけの影響度

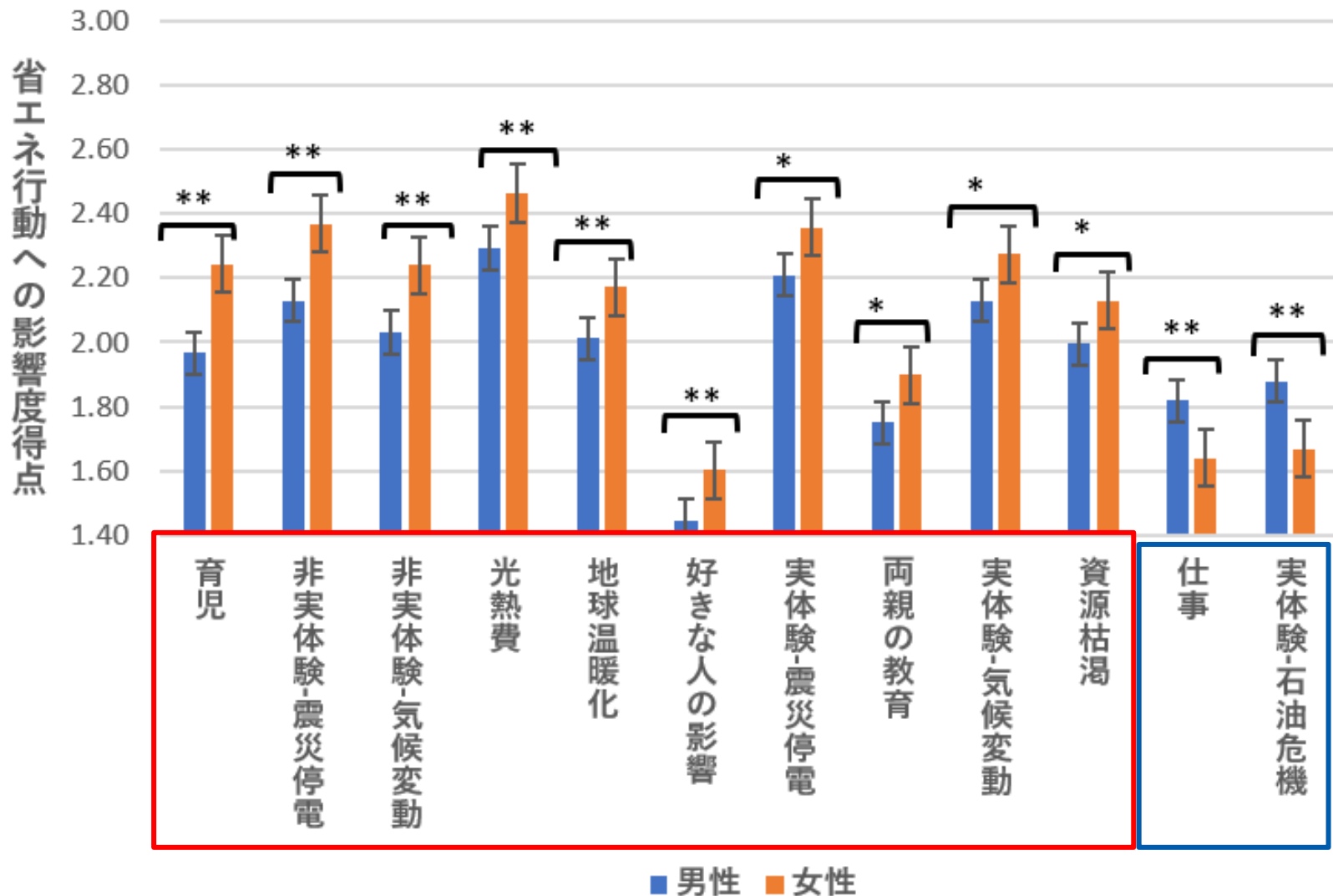
きっかけ	男性	女性	きっかけ	男性	女性
非実体験-震災停電	2.13	2.37	地域活動	1.71	1.79
非実体験-気候変動	2.03	2.24	仕事	1.82	1.64
非実体験-石油危機	1.83	1.75	環境教育	1.86	1.95
絶滅	1.93	2.02	育児	1.97	2.24
資源枯渇	1.99	2.13	両親の教育	1.75	1.90
地球温暖化	2.01	2.17	光熱費	2.29	2.46
環境破壊	1.97	2.05	みえる化	2.02	2.07
実体験-震災停電	2.21	2.36	自然が身近	1.66	1.64
実体験-気候変動	2.13	2.27	好きな人の影響	1.45	1.60
実体験-石油危機	1.88	1.67	身近な環境破壊	1.78	1.77

1＝意識も行動も変化なし
2＝省エネ意識が変化した
3＝意識も行動も変化した

表中：
赤字＝最も得点が高いもの
青字＝最も得点が低いもの

性別の違いによるきっかけの影響度

t検定



* $p < .05$, ** $p < .01$

※ 順番: 左から男女の平均値の差が大きさ

価値観分類別きっかけの影響度

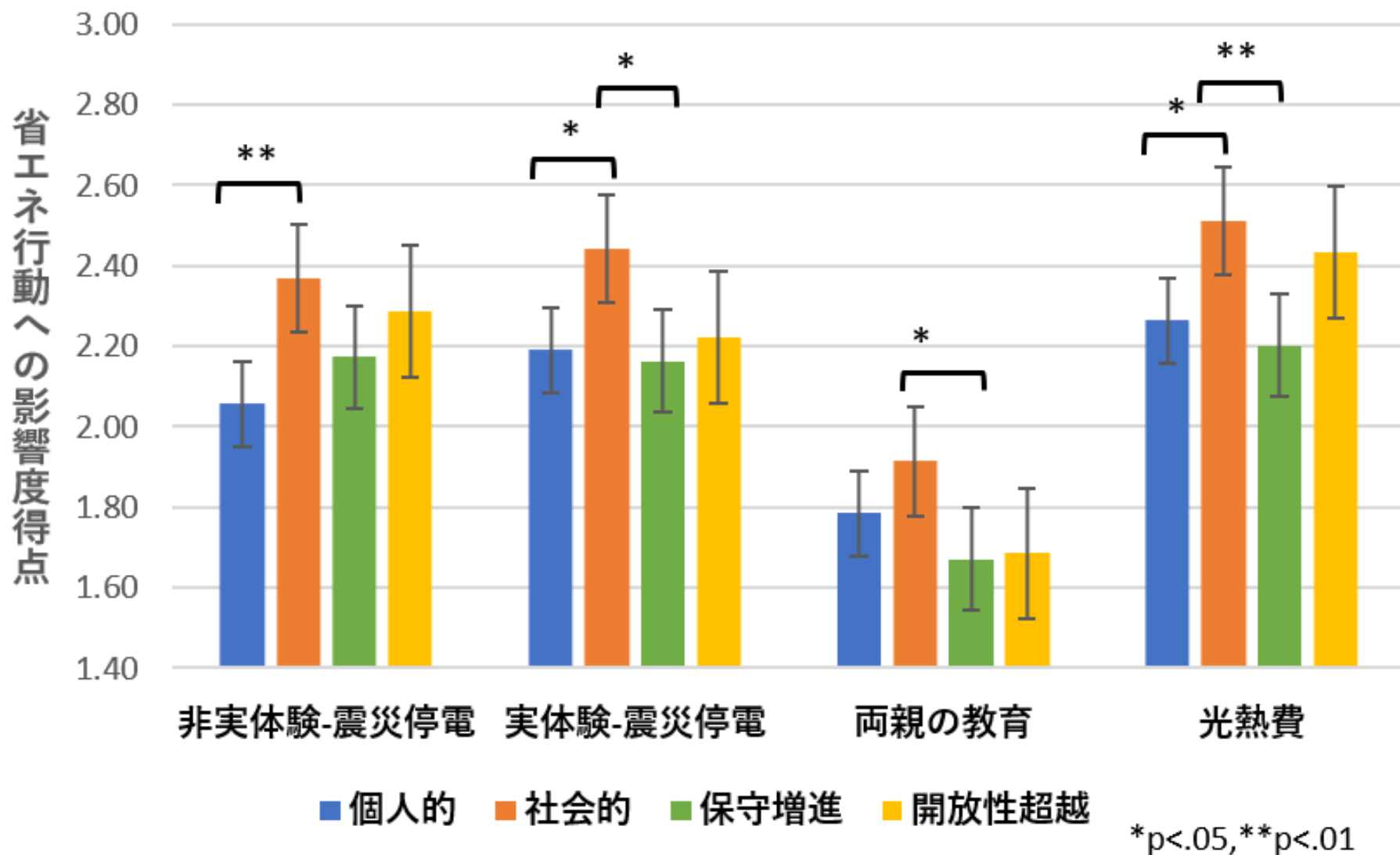
きっかけ	個人的	社会的	保守増進	開放性超越	全体平均
非実体験-震災停電	2.06	2.37	2.17	2.29	2.23
非実体験-気候変動	2.03	2.21	2.04	2.11	2.11
非実体験-石油危機	1.80	1.83	1.73	1.73	1.78
絶滅	1.93	2.00	1.85	2.02	1.95
資源枯渇	2.03	2.10	1.92	2.03	2.03
地球温暖化	2.00	2.13	1.96	2.12	2.06
環境破壊	1.96	2.01	1.90	2.10	1.99
実体験-震災停電	2.19	2.44	2.16	2.22	2.28
実体験-気候変動	2.13	2.24	2.10	2.23	2.18
実体験-石油危機	1.86	1.82	1.66	1.77	1.79
地域活動	1.80	1.80	1.56	1.72	1.73
仕事	1.82	1.72	1.60	1.79	1.74
環境教育	1.90	1.87	1.77	1.91	1.86
育児	2.03	2.20	1.98	2.03	2.08
両親の教育	1.79	1.91	1.67	1.68	1.78
光熱費	2.26	2.51	2.20	2.43	2.37
みえる化	2.05	2.05	1.95	1.99	2.02
自然が身近	1.71	1.67	1.48	1.63	1.63
好きな人の影響	1.51	1.53	1.37	1.50	1.48
身近な環境破壊	1.75	1.82	1.61	1.80	1.75

1＝意識も行動も変化なし
2＝省エネ意識が変化した
3＝意識も行動も変化した

表中：
赤字＝最も得点が高いもの
青字＝最も得点が低いもの

価値観分類別きかけの影響度

一元配置分散分析 (Dunnett法による多重比較)



省エネ行動への影響度 まとめ

影響と属性 きっかけ	年代			性別		価値観			
	40代以下	50代	60代以上	男性	女性	社会的価値観	個人的価値観	保守増進	開放性超越
非実体験-震災停電					○	○			
非実体験-気候変動			○ (40代only)		○				
非実体験-石油危機			△	△					
絶滅			○ (40代only)						
資源枯渇			○ (40代only)		○				
地球温暖化			○ (40代only)		○				
環境破壊			○ (40代only)						
実体験-震災停電			○ (40代only)		○	○			
実体験-気候変動			○		○				
実体験-石油危機			○	○					
地域活動									
仕事			△						
環境教育									
育児					○				
両親の教育					△	△			
光熱費					○	○			
みえる化									
自然が身近									
好きな人の影響					△				
身近な環境破壊									

※有意差はあるが省エネ行動への影響が2.0以下のきっかけ：△,有意差があり省エネへの影響が2.0以上のきっかけ：○

本発表では、人々が重要と考える**事象**とそれらのきっかけが省エネ意識の向上や行動誘発に及ぼす影響を属性や価値観に着目して検討した。

● きっかけの重要度認知と影響度

重要と認知されているきっかけ 上位3つ

「非実体験-気候変動」「非実体験-震災停電」「光熱費」

きっかけの影響度 上位3つ

「実体験-気候変動」「実体験-震災停電」「光熱費」

重要と認識するのはメディアを通して経験したきっかけだが、
実際に行動に結び付くのは実際に経験する場合であると考えられる

まとめ その2

●属性や価値観による影響度の違い

年代

60代以上:「石油危機」「絶滅」など

⇒60代のみが経験したきっかけやメディアの視聴時間の長さ

性別

女性:「育児」「光熱費」「非実体験-震災停電」など

男性:「仕事」「実体験-石油危機」

⇒性別の違いによるライフスタイルの特徴や役割の違い

社会的価値観:

「非実体験-震災停電」「実体験-震災停電」「両親の教育」「光熱費」

⇒実体験および行政府・両親からなど周囲からの働きかけ

●今後の課題:

- ・意識と行動の影響の違いについて分析を深める
- ・個別聞き取り調査による検証

参考文献

- ・八木田克英, 岩船由美子, 荻原美由紀, 藤本剛志, 東日本大震災後の家庭における節電行動の規定要因, エネルギー・資源学会論文誌, 2012, 33(4), 7-16,
- ・大塚彩美, 人々の価値観およびエネルギー意識がエネルギー消費行動に与える影響, 横浜国立大学, 2017, 博士論文
- ・福代 和宏, 単身世帯の生活意識とエネルギー消費行動に関する研究, 空気調和・衛生工学会, 33巻 139号 p. 1-10, 2009, p11-21
- ・尾島俊雄, 住宅におけるエネルギー消費実態に関する全国調査, 日本建築学会大会学術講演梗概集, 1979, p423-424
- ・吉田 一居, 家庭内における省エネルギー行動と意識に関する研究 その6 新築マンション居住者に対する入居前後ならびに竣工1年後アンケート調査結果, 空気調和・衛生工学会, 2017

謝辞

本研究は科学研究費助成事業(課題番号18K18896)および早稲田大学特定課題研究助成費(課題番号2019C-720)による研究成果の一部である。ここに記して謝意を表する。

ご清聴ありがとうございました。

重要度と省エネ行動への影響の相関関係

相関(spearman)											
非震災停電	相関係数	.485	地球温暖化	相関係数	.492**	地域活動	相関係数	.599**	光熱費	相関係数	.477**
	有意確率 (両側)	0.000		有意確率 (両側)	0.000		有意確率 (両側)	0.000		有意確率 (両側)	0.000
	度数	647		度数	646		度数	426		度数	648
非気候変動	相関係数	.524**	環境破壊	相関係数	.453**	仕事	相関係数	.538**	みえる化	相関係数	.455**
	有意確率 (両側)	0.000		有意確率 (両側)	0.000		有意確率 (両側)	0.000		有意確率 (両側)	0.000
	度数	653		度数	643		度数	530		度数	534
非石油危機	相関係数	.499**	実震災停電	相関係数	.555**	環境教育	相関係数	.442**	自然が身近	相関係数	.474**
	有意確率 (両側)	0.000		有意確率 (両側)	0.000		有意確率 (両側)	0.000		有意確率 (両側)	0.000
	度数	586		度数	516		度数	539		度数	554
絶滅	相関係数	.515**	実気候変動	相関係数	.459**	育児	相関係数	.511**	好きな人の 影響	相関係数	.489**
	有意確率 (両側)	0.000		有意確率 (両側)	0.000		有意確率 (両側)	0.000		有意確率 (両側)	0.000
	度数	628		度数	633		度数	637		度数	539
資源枯渇	相関係数	.489**	実石油危機	相関係数	.544**	両親の教育	相関係数	.563**	身近な環境 破壊	相関係数	.489**
	有意確率 (両側)	0.000		有意確率 (両側)	0.000		有意確率 (両側)	0.000		有意確率 (両側)	0.000
	度数	630		度数	473		度数	492		度数	486

全てのきっかけにて重要度と省エネ行動への影響に
正の相関関係がみられた

きっかけ影響と行動意図・実践度

きっかけ		度数	行動意図			実践度		
			家族	設定調整	習慣変容	家族	設定調整	習慣変容
地域活動	意識のみ変化	159	5.36	5.33	5.14	2.13	2.12	2.63
	意識・行動変化	78	5.71	5.83	5.57	2.53	2.43	2.91
	有意確率		0.002	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
好きな人の影響	意識のみ変化	186	5.38	5.45	5.25	2.17	2.17	2.68
	意識・行動変化	44	5.90	5.88	5.71	2.67	2.32	2.88
	有意確率		0.000	0.000	0.000	0.022	0.003	0.001
非実-石油危機	意識のみ変化	283	5.27	5.30	5.11	2.12	2.13	2.59
	意識・行動変化	92	5.82	5.91	5.73	2.40	2.39	2.87
	有意確率		0.000	0.000	0.000	0.130	0.000	0.000
環境破壊	意識のみ変化	328	5.28	5.31	5.14	2.11	2.10	2.60
	意識・行動変化	159	5.70	5.78	5.60	2.42	2.32	2.86
	有意確率		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
身近な環境破壊	意識のみ変化	204	5.26	5.39	5.19	2.13	2.16	2.64
	意識・行動変化	86	5.76	5.79	5.63	2.42	2.30	2.85
	有意確率		0.000	0.000	0.000	0.015	0.000	0.000
絶滅	意識のみ変化	342	5.31	5.33	5.16	2.13	2.12	2.61
	意識・行動変化	131	5.67	5.76	5.58	2.40	2.32	2.85
	有意確率		0.001	0.000	0.000	0.002	0.000	0.000
環境教育	意識のみ変化	262	5.28	5.32	5.13	2.18	2.10	2.61
	意識・行動変化	110	5.84	5.77	5.62	2.35	2.30	2.84
	有意確率		0.000	0.000	0.000	0.080	0.000	0.000
地球温暖化	意識のみ変化	333	5.31	5.29	5.15	2.12	2.10	2.62
	意識・行動変化	182	5.69	5.80	5.59	2.37	2.33	2.82
	有意確率		0.000	0.000	0.000	0.001	0.000	0.000
仕事	意識のみ変化	206	5.24	5.26	5.10	2.13	2.13	2.61
	意識・行動変化	97	5.64	5.80	5.57	2.32	2.36	2.82
	有意確率		0.007	0.000	0.000	0.169	0.000	0.000
育児	意識のみ変化	272	5.26	5.31	5.12	2.13	2.11	2.59
	意識・行動変化	209	5.76	5.72	5.59	2.36	2.26	2.82
	有意確率		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
自然が身近	意識のみ変化	173	5.44	5.41	5.22	2.21	2.14	2.65
	意識・行動変化	94	5.66	5.75	5.58	2.40	2.30	2.82
	有意確率		0.002	0.000	0.000	0.007	0.002	0.001
両親の教育	意識のみ変化	201	5.28	5.32	5.18	2.08	2.13	2.63
	意識・行動変化	99	5.69	5.69	5.56	2.38	2.28	2.81
	有意確率		0.002	0.000	0.000	0.005	0.002	0.002
資源枯渇	意識のみ変化	299	5.29	5.25	5.10	2.15	2.08	2.60
	意識・行動変化	181	5.64	5.75	5.58	2.29	2.29	2.80
	有意確率		0.000	0.000	0.000	0.144	0.000	0.000
非実-気候変動	意識のみ変化	322	5.32	5.31	5.17	2.16	2.10	2.64
	意識・行動変化	204	5.64	5.70	5.53	2.28	2.29	2.78
	有意確率		0.000	0.000	0.000	0.107	0.000	0.000
非実-震災停電	意識のみ変化	273	5.27	5.23	5.12	2.16	2.04	2.60
	意識・行動変化	261	5.61	5.65	5.47	2.27	2.28	2.76
	有意確率		0.000	0.000	0.000	0.048	0.000	0.000
みえる化	意識のみ変化	229	5.34	5.36	5.21	2.18	2.10	2.63
	意識・行動変化	163	5.59	5.62	5.42	2.30	2.26	2.75
	有意確率		0.000	0.000	0.000	0.016	0.000	0.001
実-石油危機	意識のみ変化	182	5.29	5.24	5.03	2.18	2.12	2.60
	意識・行動変化	100	5.56	5.70	5.51	2.29	2.37	2.75
	有意確率		0.004	0.000	0.000	0.052	0.000	0.035
実-震災停電	意識のみ変化	162	5.23	5.28	5.08	2.11	2.09	2.58
	意識・行動変化	246	5.54	5.56	5.42	2.26	2.25	2.74
	有意確率		0.001	0.000	0.000	0.062	0.000	0.000
実-気候変動	意識のみ変化	270	5.27	5.27	5.11	2.11	2.11	2.64
	意識・行動変化	241	5.57	5.63	5.47	2.26	2.24	2.74
	有意確率		0.010	0.000	0.000	0.096	0.000	0.001
光熱費	意識のみ変化	200	5.25	5.19	5.10	2.18	2.05	2.63
	意識・行動変化	342	5.55	5.55	5.38	2.22	2.20	2.69
	有意確率		0.000	0.000	0.000	0.112	0.000	0.071

設問項目	
家族	続けて入浴 リビングで過ごす
設定調整	すだれ・カーテンなどで日差しよけ 照明の間引き LED型照明利用 冷房28℃設定 テレビ輝度低減 冷気漏れ抑える 冷蔵庫設定温度
習慣変容	テレビを観るときのみ点ける 保温機能利用を抑える 余熱調理 食洗機利用抑える 乾燥機利用抑える 待機電力減らす お湯減らす 便座を閉める 公共交通利用 外食抑える

きっかけの重要度高・影響 のクロス分析の結果

重要度高△影響度

きっかけ	重要度高△変化なし	重要度高△意識のみ変化	重要度高△意識・行動変化
光熱費	9.1%	28.6%	62.3%
実体験-震災停電	10.0%	29.3%	60.7%
非実体験-震災停電	9.3%	42.6%	48.1%
実体験-気候変動	11.9%	41.8%	46.3%
みえる化	12.8%	44.1%	43.1%
育児	13.3%	43.8%	42.9%
地域活動	14.4%	44.8%	40.7%
実体験-石油危機	17.0%	44.3%	38.6%
両親の教育	14.5%	47.3%	38.2%
仕事	14.2%	50.0%	36.0%
地球温暖化	10.1%	52.9%	37.0%
非実体験-気候変動	10.1%	51.7%	38.2%
資源枯渇	13.0%	50.5%	36.5%
環境教育	17.0%	51.8%	31.2%
環境破壊	14.9%	54.4%	30.7%
絶滅	13.8%	57.6%	28.6%
非実体験-石油危機	17.1%	58.7%	24.2%
好きな人の影響	22.6%	53.7%	23.7%
身近な環境破壊	18.8%	50.0%	31.2%
自然が身近	27.6%	40.9%	31.6%

重要度高が行動に
結び付かない理由
(FGDより)

スケールが大きいと
感じるきっかけ
→ どう動けばいいか
想像しがたい。

価値観の影響度得点 その1

社会的価値観が最も効果のあるきっかけの場合

きっかけ						平均値の差			有意確率		
	個人的	社会的	保守増進	開放性超越	全体平均	個人的	開放性超越	保守増進	個人的	開放性超越	保守増進
非実体験-震災停電	2.0580	2.3681	2.1727	2.2871	2.2316	-.31016*	-0.08100	-0.19540	0.000	0.704	0.064
非実体験-気候変動	2.0294	2.2077	2.0442	2.1100	2.1090	-0.17824	-0.09765	-0.16340	0.065	0.557	0.131
資源枯渇	2.0292	2.1040	1.9167	2.0316	2.0312	-0.07485	-0.07247	-0.18738	0.707	0.786	0.090
地球温暖化	2.0000	2.1326	1.9554	2.1200	2.0587	-0.13260	-0.01260	-0.17724	0.229	0.998	0.088
実体験-震災停電	2.1905	2.4422	2.1628	2.2237	2.2802	-.25170*	-0.21849	-.27939*	0.032	0.123	0.023
育児	2.0292	2.1989	1.9818	2.0309	2.0769	0.04372	-0.05027	-0.15460	0.130	0.202	0.051
両親の教育	1.7850	1.9141	1.6705	1.6849	1.7828	-0.12902	-0.22913	-.24361*	0.418	0.093	0.048
光熱費	2.2643	2.5112	2.2018	2.4343	2.3653	-.24695*	-0.07689	-.30948*	0.010	0.766	0.002
身近な環境破壊	1.7522	1.8220	1.6067	1.7973	1.7487	-0.06982	-0.02474	-0.21529	0.821	0.993	0.098

*p<.1 **p<.05, ***p<.01

*有意傾向, **5%有意, ***1%有意

価値観の影響度得点 その2

最も影響を与える価値観とその他の価値観に有意差はあるのか？

個人的価値観が最も効果のあるきかけの場合

きかけ	個人的	社会的	保守増進	開放性超越	全体平均	平均値の差			有意確率		
						社会的	保守増進	開放性超越	社会的	保守増進	開放性超越
実体験-石油危機	1.86	1.82	1.66	1.77	1.79	-0.04	-0.20	-0.09	0.952	0.173	0.756
地域活動	1.80	1.80	1.56	1.72	1.73	0.00	-0.24	-0.08	1.000	0.099	0.863
仕事	1.82	1.72	1.60	1.79	1.74	-0.09	-0.22	-0.03	0.645	0.084	0.984
自然が身近	1.71	1.67	1.48	1.63	1.63	0.04	-0.04	-0.19	0.950	0.059	0.773

最も影響を与える価値観とその他の価値観に有意差はあるのか？

開放性超越が最も効果がある場合

きかけ	個人的	社会的	保守増進	開放性超越	全体平均	平均値の差			有意確率		
						個人的	社会的	保守増進	個人的	社会的	保守増進
絶滅	1.93	2.00	1.85	2.02	1.95	-0.10	-0.02	-0.17	0.558	0.989	0.177
環境破壊	1.96	2.01	1.90	2.10	1.99	-0.15	-0.10	-0.20	0.258	0.531	0.094
環境教育	1.90	1.87	1.77	1.91	1.86	-0.01	-0.03	-0.14	1.000	0.974	0.397

*p<.1 **p<.05, ***p<.01

*有意傾向, **5%有意, ***1%有意

性別の影響度得点

きっかけ	男性	女性	平均値の差	有意確率	きっかけ	男性	女性	平均値の差	有意確率
育児	1.97	2.24	-0.28	0.000	環境教育	1.86	1.95	-0.09	0.130
非実-震災停電	2.13	2.37	-0.24	0.000	絶滅	1.93	2.02	-0.09	0.101
非実-気候変動	2.03	2.24	-0.21	0.000	環境破壊	1.97	2.05	-0.08	0.144
光熱費	2.29	2.46	-0.17	0.004	地域活動	1.71	1.79	-0.08	0.273
地球温暖化	2.01	2.17	-0.16	0.004	みえる化	2.02	2.07	-0.06	0.382
好きな人の影響	1.45	1.60	-0.16	0.005	自然が身近	1.66	1.64	0.01	0.844
実-震災停電	2.21	2.36	-0.15	0.039	身近な環境破壊	1.78	1.77	0.01	0.867
両親の教育	1.75	1.90	-0.15	0.032	非実-石油危機	1.83	1.75	0.07	0.214
実-気候変動	2.13	2.27	-0.14	0.015	仕事	1.82	1.64	0.18	0.008
資源枯渇	1.99	2.13	-0.13	0.022	実-石油危機	1.88	1.67	0.21	0.004

女性に効果があるきっかけ



「育児」「光熱費」など家事・育児
「非実-震災停電」などメディアなど

男性に効果があるきっかけ



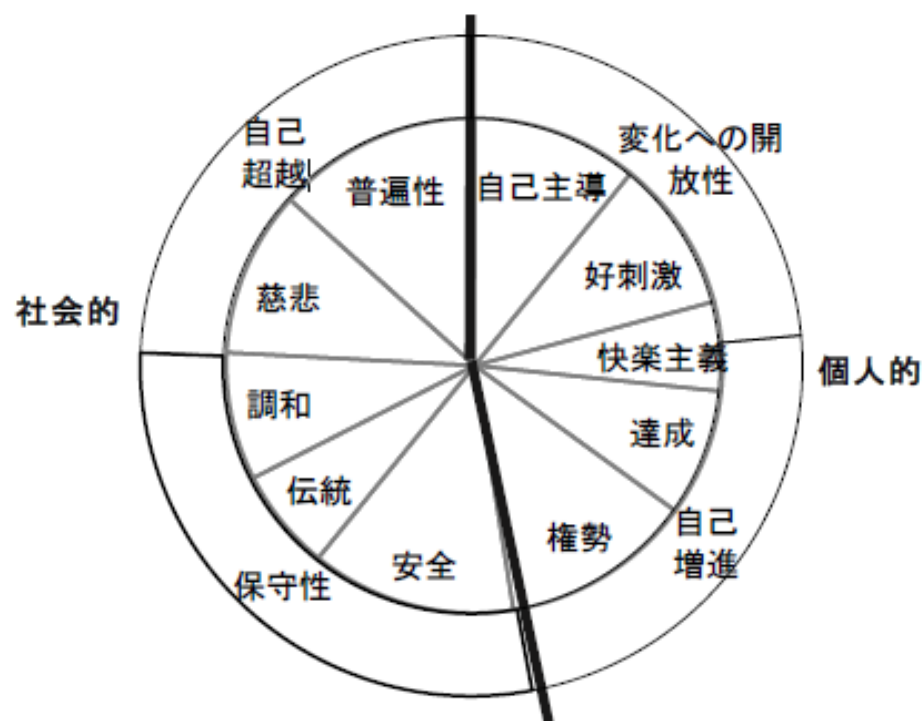
「仕事」「実-石油危機」家計・経済危機
などに対して男性が深い関係

年齢と影響度得点

60代以上とその他群の一元配置分散分析

きっかけ					平均値の差		有意確率	
	40代以下	50代	60代以上	合計	40代以下	50代	40代以下	50代
実体験-石油危機	1.61	1.70	2.06	1.82	-.459*	-.368*	0.000	0.000
非実体験-石油危機	1.67	1.74	1.96	1.80	-.290*	-.224*	0.000	0.000
仕事	1.70	1.71	1.92	1.78	-.228*	-.215*	0.003	0.004
実体験-気候変動	2.10	2.13	2.30	2.17	-.201*	-.169*	0.005	0.017
地球温暖化	1.97	2.06	2.16	2.06	-.190*	-0.106	0.005	0.144
資源枯渇	1.96	2.00	2.13	2.03	-.176*	-0.131	0.014	0.070
非実体験-気候変動	2.01	2.11	2.18	2.10	-.167*	-0.071	0.015	0.399
実体験-震災停電	2.15	2.24	2.35	2.25	-.194*	-0.111	0.022	0.243
環境破壊	1.91	1.98	2.07	1.98	-.156*	-0.091	0.025	0.230
絶滅	1.88	1.91	2.03	1.94	-.155*	-0.118	0.024	0.086
非実体験-震災停電	2.15	2.19	2.26	2.20	-0.110	-0.068	0.162	0.448
みえる化	1.97	1.99	2.07	2.01	-0.104	-0.080	0.270	0.433
光熱費	2.27	2.33	2.37	2.32	-0.101	-0.038	0.236	0.782
自然が身近	1.66	1.66	1.71	1.68	-0.050	-0.047	0.710	0.732
環境教育	1.89	1.84	1.93	1.89	-0.041	-0.098	0.777	0.259
地域活動	1.75	1.73	1.77	1.75	-0.021	-0.034	0.952	0.877
身近な環境破壊	1.72	1.78	1.83	1.78	0.104	0.019	0.191	0.937

価値観分類



社会的		
自己超越	普遍性	社会的公平性・自然や全ての人に対する理解・寛容
	慈悲	身近な人々の福利の保全・向上
保守性	調和	礼儀正しさ・従順さ, 他者を傷つける行為や規範を犯す行為の抑制
	伝統	伝統文化・風習・宗教
	安全	社会秩序・他者との関係, 自己の安全・安定の重視

個人的		
変化への開放性	自己主導	自由・好奇心・自身の独立思考・行動
	好刺激	刺激的な体験, 新しさ, 挑戦
	快楽主義	自分の喜び・快楽・満足の重視
自己増進	達成	向上心・自己能力顕示の重視
	権勢	社会的地位, 特権, 他者や資源の支配

(出典: Schwartz⁸⁴⁾⁸⁵⁾を基に筆者作成)

図 3-1 Schwartz の価値理論における価値分類の環状連続体